

**コンピュータサービス技能評価試験
PCドライビング部門
試験基準及びその細目**

制定 平成17年10月1日

カテゴリ-名	試験科目及びその範囲	細目	適用試験	
			実技	筆記
A. OSの操作スキル	1. パソコンの起動・終了の仕組みとその操作	<p>1. OSが起動するまでの仕組みに関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) ハードウェアの仕組み</p> <p>(2) ソフトウェア (BIOS) の仕組み</p> <p>2. OSの起動及び終了の仕組みに関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) 起動の仕組み</p> <p>ア. ブート処理</p> <p>イ. ドライバ組込み処理</p> <p>(2) 終了の仕組み</p> <p>ア. 稼動中プログラムに対する処理</p> <p>イ. システムに関する情報の退避処理</p> <p>3. パソコンの起動と終了の操作に関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) 起動装置の選択</p> <p>(2) 検査モード (SAFEモード等) でのOS起動</p> <p>(3) スタンバイ、休止、再起動及び電源切断操作</p> <p>4. パソコンの起動・終了時におけるシステム障害・診断に関し、次に掲げる知識を有すること</p> <p>(1) システム障害の切分け</p> <p>ア. システム障害発生時の画面による診断</p> <p>イ. システム障害発生時の表示ランプによる診断</p> <p>ウ. システム障害発生時の装置発声音、サウンドによる診断</p> <p>エ. 発生状況、特殊機能を利用した診断</p> <p>(2) システム障害の対応について</p> <p>ア. 取扱説明書 (マニュアル) による対応</p> <p>イ. サービスセンター (ヘルプデスク等) へのシステム障害発生状況の正確な情報伝達</p>		
	2. 汎用ソフトウェアの起動・終了の仕組みとその操作	<p>1. OSによる汎用ソフトウェアの管理に関し、次に掲げる事項ができること</p> <p>(1) OSの汎用プログラムの管理機能について</p> <p>ア. アプリケーションとしての管理</p> <p>イ. プロセスとしての管理</p> <p>(2) サービスとして稼動する汎用ソフトウェア</p> <p>(3) 汎用ソフトウェアに対するオペレーション指示とOSとの関係について</p> <p>ア. 汎用ソフトウェアの画面 (GUI) での操作指示</p> <p>イ. 汎用ソフトウェアの文字 (CUI) での操作指示</p> <p>2. 汎用ソフトウェアの起動と終了の仕組みに関し、次に掲げる確認ができること</p> <p>(1) 汎用ソフトウェアの起動の仕組み</p> <p>(2) 汎用ソフトウェアの終了の仕組み</p> <p>3. 汎用ソフトウェアの起動と終了の操作に関し、次に掲げる事項ができること</p> <p>(1) 起動の操作</p> <p>ア. 手動での起動方法の種類</p> <p>イ. 自動起動の設定 (サービス・スタートアップの登録等)</p> <p>(2) 終了の操作</p> <p>ア. 汎用ソフトウェアの持つ機能による終了</p> <p>イ. OSの持つ操作機能 (DOSコマンド、タスクマネージャー等) による終了</p>		
	3. 電子化データとその利用	<p>1. パソコンが扱うデータの単位に関し、次に掲げる事項の確認等ができること</p> <p>(1) 容量</p> <p>ア. メモリの容量</p> <p>イ. 各種媒体等格納容量</p> <p>(ア) 記憶媒体又はドライブのデータ格納容量</p> <p>(イ) フォルダ及びファイルのデータ使用容量</p> <p>(2) 速度</p> <p>ア. データ通信に係る最大情報転送速度</p> <p>イ. 接続装置に係る平均転送速度</p> <p>ウ. CPUの処理速度</p> <p>2. プログラムが処理対象として扱うデータの利用に関し、次に掲げる事項ができること</p> <p>(1) 利用者が認識できるデータ利用</p> <p>ア. 文字データ</p> <p>イ. 画像データ</p> <p>ウ. 音データ</p> <p>(2) ファイル形式のデータフォーマット</p> <p>3. プログラム本体の格納にすることができること</p>		

カテゴリ-名	試験科目及びその範囲	細目	適用試験	
			実技	筆記
	4. OSの運用・操作	<p>1. ユーザーインターフェースによる操作に関し、次に掲げる事項ができること</p> <p>(1) キーボードの操作</p> <p>ア. 文字入力</p> <p>イ. アクセスキー、ショートカットキー</p> <p>(2) マウス等ポインティングデバイスの操作</p> <p>ア. クリック</p> <p>イ. ドラッグ</p> <p>(3) 画面での操作</p> <p>ア. 運用対象アプリケーション選択</p> <p>イ. 開始メニュー選択</p> <p>ウ. タスクバー</p> <p>2. 日本語入力操作に関し、次に掲げる事項ができること</p> <p>(1) 入力モードの切替え</p> <p>(2) 変換モードの切替え</p> <p>(3) 入力方式の切替え</p> <p>3. OSのカスタマイズに関し、次に掲げる事項ができること</p> <p>(1) 入力に対するカスタマイズ</p> <p>ア. マウスの動作の設定</p> <p>イ. キーボードの動作の設定</p> <p>ウ. 音声ナビによる操作設定</p> <p>エ. スクリーンキーボードの利用設定</p> <p>(2) 出力に対するカスタマイズ</p> <p>ア. 画面の表示形態 (Windowsではデスクトップメニュー) の設定</p> <p>イ. サウンドの設定</p> <p>ウ. 音声ガイダンスの利用の設定</p> <p>(3) 動作環境に対するカスタマイズ</p> <p>ア. 利用可能プログラムの追加 / 削除</p> <p>イ. 利用可能フォントの追加 / 削除</p> <p>ウ. 特殊フォルダ場所変更</p> <p>エ. 動作時刻の設定</p> <p>オ. 国別対応の設定</p>		
	5. OSのファイルシステムの操作	<p>1. データ管理システムの操作に関し、次に掲げる事項ができること</p> <p>(1) フォルダに対する操作</p> <p>ア. 新規作成</p> <p>イ. 名称変更</p> <p>ウ. 削除</p> <p>エ. 複写</p> <p>オ. 移動</p> <p>カ. 属性の変更</p> <p>(2) ファイルに対する操作</p> <p>ア. 新規作成</p> <p>イ. 名称変更</p> <p>ウ. 削除</p> <p>エ. 複写</p> <p>オ. 移動</p> <p>カ. 属性の変更</p> <p>2. データ格納に関し、次に掲げる事項の確認ができること</p> <p>(1) ドライブ</p> <p>(2) フォルダ</p> <p>(3) ファイル</p> <p>3. 電子データ等の機密の保持に関し、利用者のアクセス権による機密の保持の確認ができること</p>		

カテゴリ-名	試験科目及びその範囲	細目	適用試験	
			実技	筆記
B. ソフト共通機能の活用スキル	1. OS上のアプリケーション・ソフトウェアにおける共通操作	<p>1. 画面の表示操作方法に関し、次に掲げる事項ができること</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 移動 (2) 縦横サイズ変更 (3) 表示状態変更 <p>2. ファイル操作方法に関し、次に掲げる事項ができること</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ファイルを「開く」 (2) ファイルの「上書き保存」 (3) ファイルに「名前を付けて保存」 <p>3. 印刷処理の出力操作方法に関し、次に掲げる事項ができること</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) プリンタの選択 (2) 部数指定 (3) 範囲指定 (4) マージン指定 (5) 用紙サイズ指定 (6) 印刷プレビュー表示 <p>4. ヘルプ機能とその操作方法に関し、次に掲げる事項ができること</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 索引による参照 (2) 検索による参照 <p>5. クリップボード利用とその操作に関し、次に掲げる事項ができること</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 利用対象の種別について <ul style="list-style-type: none"> ア. テキスト イ. イメージ ウ. オブジェクト (2) 操作について <ul style="list-style-type: none"> ア. コピー イ. 切り取り ウ. 貼付け 		
	2. 一般的なハードウェアの活用	<p>1. パソコン本体の仕様に関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) CPUの仕様 (2) メモリの仕様 (3) 外部装置への接続インターフェース仕様 (4) 本体に装備されている装置の仕様 <p>2. パソコン種別に関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) デスクトップ型 (2) ノートブック型 (3) PDA <p>3. 周辺装置に関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 入・出力装置について <ul style="list-style-type: none"> ア. 補助記憶装置として利用 <ul style="list-style-type: none"> (ア) ハードディスク (イ) メモリカード イ. 主としてデータ保存媒体として利用 <ul style="list-style-type: none"> (ア) DVD (イ) CD (ウ) MO (エ) FD (2) 入力専用装置について <ul style="list-style-type: none"> ア. データの入力装置として利用 <ul style="list-style-type: none"> (ア) キーボード (イ) マウス等ポインティングデバイス イ. 音声入力装置(マイク等) ウ. 画像等イメージ入力装置(スキャナー) (3) 出力専用装置について <ul style="list-style-type: none"> ア. 出力装置として利用 <ul style="list-style-type: none"> (ア) ディスプレイ (イ) スピーカ イ. 出力装置(プリンタ)として利用 		

カテゴリ-名	試験科目及びその範囲	細目	適用試験	
			実技	筆記
	3. 一般的なソフトウェアの活用	<p>1. 入力装置と連携してパソコンへデータを取り込むソフトウェアに関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) 画像等イメージ及び取込み用ソフトウェアについて</p> <p>ア. スキャナ装置との連携</p> <p>イ. デジタルカメラ装置との連携</p> <p>ウ. デジタルビデオ装置との連携</p> <p>(2) 音声及び音源の取込み用ソフトウェアについて</p> <p>ア. マイク装置との連携</p> <p>イ. 電子楽器装置との連携</p> <p>2. パソコン内の電子化データ加工用ソフトウェアに関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) ドキュメント加工用ソフトウェア</p> <p>ア. ワープロ関連</p> <p>イ. 表計算関連</p> <p>ウ. プレゼンテーション関連</p> <p>(2) 画像イメージ、動画及び音源加工用ソフトウェア</p> <p>ア. 画像処理関連</p> <p>イ. CG処理関連</p> <p>ウ. 動画処理関連</p> <p>エ. 音源ミキシング処理関連</p> <p>3. 出力装置と連携してパソコンからのデータを出力するソフトウェアに関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) プリンタと連携する印刷用ソフトウェア</p> <p>(2) スピーカと連携する音楽及び音声再生用ソフトウェア</p> <p>(3) ディスプレイと連携する画像表示用ソフトウェア</p> <p>(4) ディスプレイと連携する動画再生用ソフトウェア</p> <p>4. 情報管理用及びデータ保存用のソフトウェアに関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) データベース関連</p> <p>(2) 大容量データ保存関連</p>		
	4. ユーティリティ・ソフトウェアの活用	<p>1. ファイル操作ユーティリティの活用に関し、次に掲げる事項ができること</p> <p>(1) 圧縮/解凍</p> <p>(2) 分割/結合</p> <p>(3) 形式変換</p> <p>(4) ファイルの暗号化</p> <p>2. テキスト操作ユーティリティの活用に関し、次に掲げる事項ができること</p> <p>(1) テキストの変換</p> <p>(2) テキストの検索</p> <p>(3) 文字コードの処理</p> <p>(4) テキストの比較</p> <p>3. ディスク管理ユーティリティの活用に関し、次に掲げる事項ができること</p> <p>(1) データ領域の最適化</p> <p>(2) データ不良箇所の検査/修復</p> <p>(3) データの退避</p> <p>4. 環境変更・表示ユーティリティの活用に関し、次に掲げる事項ができること</p> <p>(1) システム設定値関連</p> <p>(2) システム稼動状態</p>		

カテゴリ-名	試験科目及びその範囲	細目	適用試験	
			実技	筆記
	5. ハードウェア及びソフトウェアの入手・設定・保守	<p>1. ハードウェア及びソフトウェアの入手に関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) ソフトウェアの提供</p> <p>ア. 製品</p> <p>イ. シェアウェア</p> <p>ウ. フリーウェア</p> <p>(2) ソフトウェアの入手手段について</p> <p>ア. 販売店</p> <p>イ. インターネット</p> <p>ウ. 書籍等の付録</p> <p>(3) ハードウェア及びソフトウェアの評価基準</p> <p>ア. 利用者の意見</p> <p>イ. カタログ活用</p> <p>ウ. ソフトウェア評価版の使用</p> <p>2. ハードウェア及びソフトウェアの設定に関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) ソフトウェアの設定について</p> <p>ア. インストール</p> <p>イ. 初期設定</p> <p>ウ. アンインストール</p> <p>(2) ハードウェアの設定について</p> <p>ア. パソコン本体との接続</p> <p>イ. ドライバのインストール</p> <p>ウ. 添付ソフトウェアのインストール</p> <p>3. ハードウェア及びソフトウェアの保守に関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) ソフトウェアの保守(改訂版等更新の操作)</p> <p>(2) ハードウェアの保守について</p> <p>ア. 取扱い説明書の活用</p> <p>イ. 最新ドライバへの更新</p>		

カテゴリ-名	試験科目及びその範囲	細目	適用試験	
			実技	筆記
C. ネットワークの活用 スキル	1. パソコンで利用する ネットワークの基礎	<p>1. ネットワークの種類及び接続用機器に関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) LAN ア. インターネット/ボード イ. ハブ</p> <p>(2) WAN ア. DSU、TA (ISDN関連) イ. モデム、ルータ (ADSL、光ファイバ関連) ウ. 音声モデム (ダイヤルアップ関連)</p> <p>(3) インターネット/イントラネット</p> <p>2. インターネット接続契約形態に関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) 光ファイバ (2) ADSL (3) ISDN (4) 電話モデム (ダイヤルアップ) (5) 有線ケーブル (専用回線)</p> <p>3. TCP/IP プロトコルに関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) ローカルIPアドレスについて ア. IPアドレスの表現 イ. サブネットマスク</p> <p>(2) グローバルIPアドレスについて ア. IPアドレスの表現 イ. DNS変換</p> <p>4. インターネットサービスプロトコル及びサーバの役割に関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) HTTP・Webサーバ (2) SMTP、POP3・メールサーバ (3) FTPサーバ</p> <p>5. インターネット網に関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) アクセスプロバイダ (2) キャリア網 (公衆回線等)</p>		
	2. LANの活用	<p>1. LANを活用したパソコンのメリットに関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) リソースの共有について ア. ドライブの共有 イ. フォルダの共有 ウ. プリンタの共有</p> <p>(2) LAN対応家電製品について</p> <p>2. LANを活用したパソコンのリスクに関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) 情報セキュリティの低下 (2) システム障害発生率の増加</p>		
	3. Webブラウザの 活用	<p>1. ブラウザの基本操作に関し、次に掲げる事項ができること</p> <p>(1) Webページ指定操作について ア. URL直接指定 イ. ページの移動 (進む、戻る) ウ. ブックマーク エ. ハイパーリンク</p> <p>(2) Webページ操作について ア. 再表示 イ. エンコード表示 ウ. 拡大、縮小表示 エ. ファイルへの保存 オ. 印刷</p> <p>2. ブラウザの設定操作に関し、次に掲げる事項ができること</p> <p>(1) 利用言語の指定 (2) プロキシの指定 (3) 利用プラグインの指定</p>		

カテゴリ-名	試験科目及びその範囲	細目	適用試験	
			実技	筆記
	4. 電子メール・ メーラーの活用	<p>1. 電子メール・メーラーの基本操作に関し、次に掲げる事項ができること</p> <p>(1) 受信操作について</p> <p>ア. 本文の参照</p> <p>イ. ヘッダの参照</p> <p>ウ. 添付ファイル</p> <p>(2) 送信操作について</p> <p>ア. 新規メール</p> <p>イ. 返信/全員へ返信</p> <p>ウ. 転送</p> <p>エ. 宛先の指定</p> <p>オ. C CとB C Cの指定</p> <p>カ. 添付ファイルの指定</p> <p>2. 電子メール・メーラーの設定操作に関し、次に掲げる事項ができること</p> <p>(1) 受信に関する設定</p> <p>(サーバのメール削除の有無指定等)</p> <p>(2) 送信に関する設定</p> <p>ア. 本文のテキスト形式での送信指定</p> <p>イ. 本文のHTML形式での送信指定</p> <p>(3) 電子メール・メーラー標準操作について</p> <p>ア. 受信メールの振り分け</p> <p>イ. メールを検索</p>		
	5. インターネット の活用	<p>1. 情報収集に関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) 検索サイトの利用</p> <p>(2) リンク集サイトの利用</p> <p>(3) 情報の信頼性</p> <p>2. ビジネスコンテンツに関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) ショッピングサイトの利用</p> <p>(2) オークションサイトの利用</p> <p>(3) 情報配信サイトの利用</p> <p>3. インターネットのフリーサービスに関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) 個人向けサービス</p> <p>ア. メール</p> <p>イ. ホームページアカウント</p> <p>ウ. ストレージ</p> <p>エ. ブログ</p> <p>(2) 団体向けサービス</p> <p>ア. コミュニティ</p> <p>イ. メーリングリスト</p> <p>ウ. メッセンジャー</p> <p>エ. B B S</p> <p>4. 情報セキュリティに関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) プログラム、データ等の防御の方法</p> <p>(2) データ等を攻撃する種類</p> <p>5. 情報モラルに関し、次に掲げる事項の知識を有すること</p> <p>(1) 情報発信者のモラル</p> <p>ア. 情報漏えい</p> <p>イ. 著作権</p> <p>ウ. アクセシビリティ</p> <p>エ. 匿名発言・発信</p> <p>オ. 情報受信者のパソコン環境</p> <p>(ア) 利用する電子メール・メーラー</p> <p>(イ) 利用するブラウザ</p> <p>(ウ) 利用するOS</p> <p>(2) ネットワークを利用する場合におけるモラル(データ通信に係る負荷の理解等)</p> <p>(3) 個人情報保護について</p>		